

アビリンピックかごしま2025（第48回鹿児島県障害者技能競技大会）

〈ビルクリーニングB競技課題〉

◎一般的な注意事項

[共通事項]

1. 時間が定められています。
12分（最大14分で打ち切り）
2. 使用する資機材は、支給されたもの以外は使用できません。
3. 作業に適した服装をしてください。
4. 作業開始の指示は審査員が行います。「始めます」「終わりました」の申告は、競技者自身で行うこと。
5. 作業ごとに入退室の際には会釈（軽く挨拶や礼）をすること。

◎弾性床清掃及び机上清掃

1. 作業面積は16㎡(4m×4m)とし、幅木により区画とします。
2. 床材質は塩化ビニール系の長尺シートの床面とします。
3. ゴミ処理・床面の掃き・拭き作業及び机上拭きの作業です。
4. 作業に使用する色々な資機材・消耗品は、作業用カートに乗せてあるものを点検してください。
5. モップの柄は、長さが調節できるので、作業前に自分で操作しやすい長さに調節してください。
6. 乾式モップ用クロスは競技者が作業前に取り付けて点検してください。
7. 床のゴミは「おがくず」とし50ml程度をまいたものとします。
8. 幅木の上には壁があるものとして作業を行ってください。
9. 作業場所にある机は移動させないでください。
10. 使用した資機材は、指定された場所へ片付けてください。

◎ 資機材一覧表

1. 各競技場に準備されているもの

品 名	寸法又は規格	数 量	備 考
作業用カート	ビルクリーニング検定資機材に準拠	1 台	
作業標示板		1 個	
ワンタッチモップ柄	ワンタッチアルミ伸縮柄	1 本	
ラージ（モップ房）	260 g 白色	1 枚	
小型ぼうき	30 cm幅用	1 本	
乾式モップヘッド	63 cm	1 枚	
文化ちり取り		1 個	
タオル	無地 水拭き用（青色）1 枚、 から拭き用（白色）1 枚	2 枚	
ダスタークロス	69 cm幅の不織布	1 枚	
ビニール袋	ゴミ箱用替袋	1 枚	
机	ビルクリーニング技能検定資材機器に 準拠	1 台	
イス	パイプ式折りたたみ	1 脚	
ゴミ箱		1 個	

2. 競技者が持参するもの

品 名	寸法又は規格	数 量	備 考
作業着（上・下）		1 着	事前に着用
作業帽又は三角巾		1 個	
作業靴	スニーカー等滑らないもの	1 足	

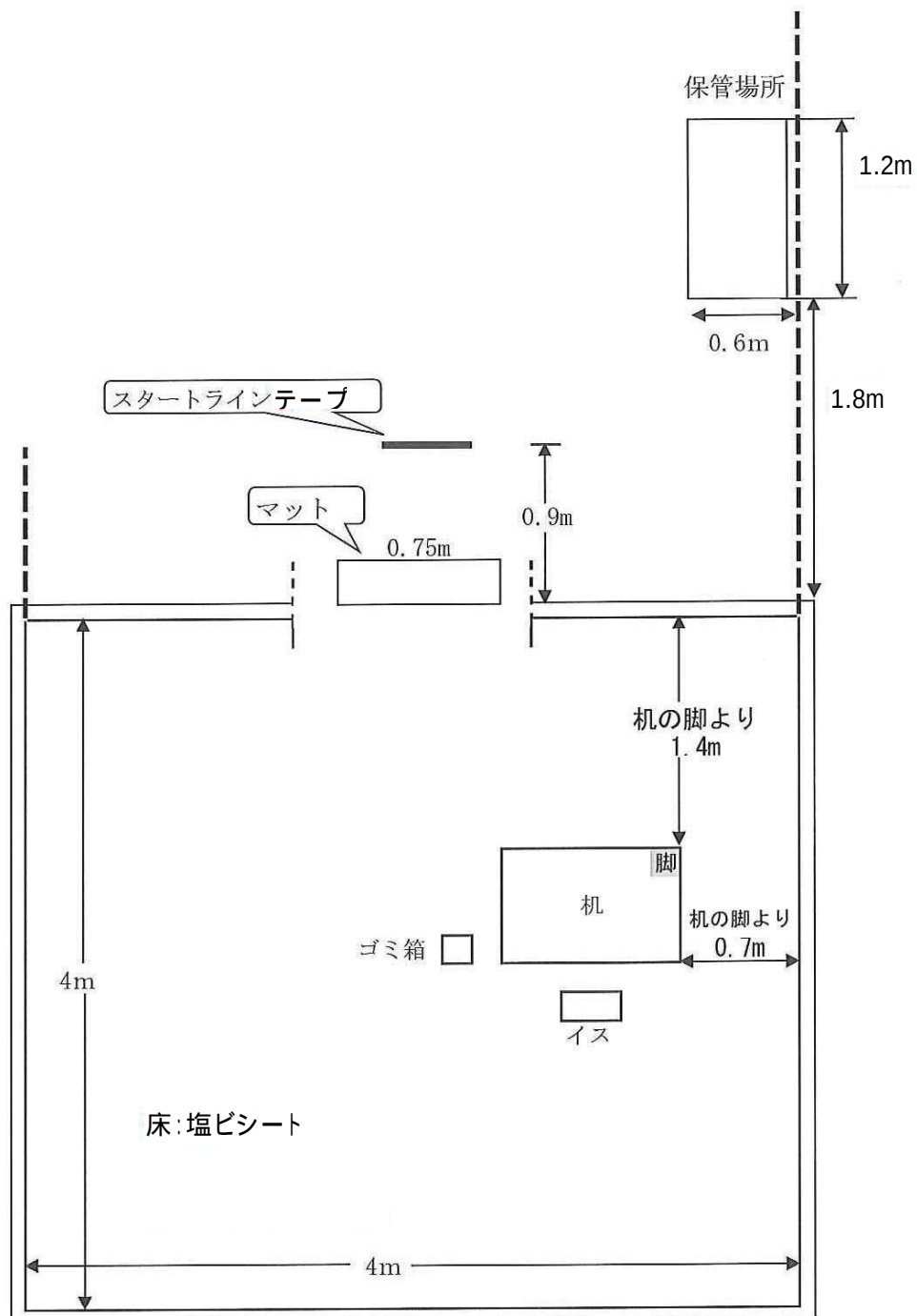
◎弾性床清掃及び机上清掃

時間：１２分（最大１４分で打ち切り）

作業工程	作業方法	補足事項	備 考
資機材の準備	作業に必要な資機材はすでに会場に準備されている。 （必要な資機材及び数量は資機材一覧表を参照のこと） ① モップ柄の長さを調整する。 ② ダスタークロスをヘッドに装着する。	・資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。 ・柄は所定の位置に立て、乾式モップヘッドはカート上部の所定の位置に置く。	資機材の点検終了後、係員の指示に従い、作業準備に入る。
競技開始の挨拶	所定の位置に立ち「始めます」と挨拶を行い、競技を開始する。	片手をあげ、礼をする。	作業開始を申告する。
作業準備	作業カートを保管場所から作業場所の近くへ移動し、作業標示板を立てる。	所定の位置に作業表示板を立てる。	
入室の挨拶	入り口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。	「失礼します」等、一礼、挨拶し入室する。	声を出して申告する。
ゴミ処理とイス上げ (1) イスを上げる (2) ゴミ回収 (3) ゴミ袋のセット	① 作業前にイスを机の上にあげる。 ② ゴミ箱にセットされているゴミ袋ごと処理する。 ③ ゴミ袋を出口においてあるカートゴミ袋に入れる。 ④ ゴミ袋のスペア袋を取り出し、ゴミ箱にセットする。 ⑤ ゴミ箱を机の上に上げる。	・机は動かさない。 ・イスは机の四隅からはみ出さないように正しくのせる。 ・ビニール袋を正しくセットする。 ・ゴミ箱は机から、はみ出さないように正しくのせる。	
除塵作業 (掃き作業)	① 入口養生マット上で、ヘッドに柄を装着する。 ② ダスタークロスで入口のゴミを取り除きコートへ入る。(入口左側に立ち作業を開始する) ③ 入り口より奥に向かって右幅木側・幅木側・机の下・中央部へと順に作業を行う。 ④ 前進しながら出口に向かって1箇所集める。 ⑤ ヘッドをワンタッチモップ柄から外す。 ⑥ 使用済みのダスタークロスを手元から外す。	・ゴミを踏まないように足場を確保する。 ・ヘッドの辺は広い方を先行させる(赤印をつけてある)。 ・ヘッドを床から離さない。 ・使用済みクロスはカートの袋の中に入れる。 ・ゴミの取り残しがあれば小ぼうきと文化ちり取りでゴミを取り除く。 ・ヘッドは、カートの上部の所定の位置へ置く。 ・ヘッドはスポンジ面を上にして置く。	ゴミはおがくずを50mℓ程度均等に撒いている。 点検の際に声を出さないこと。

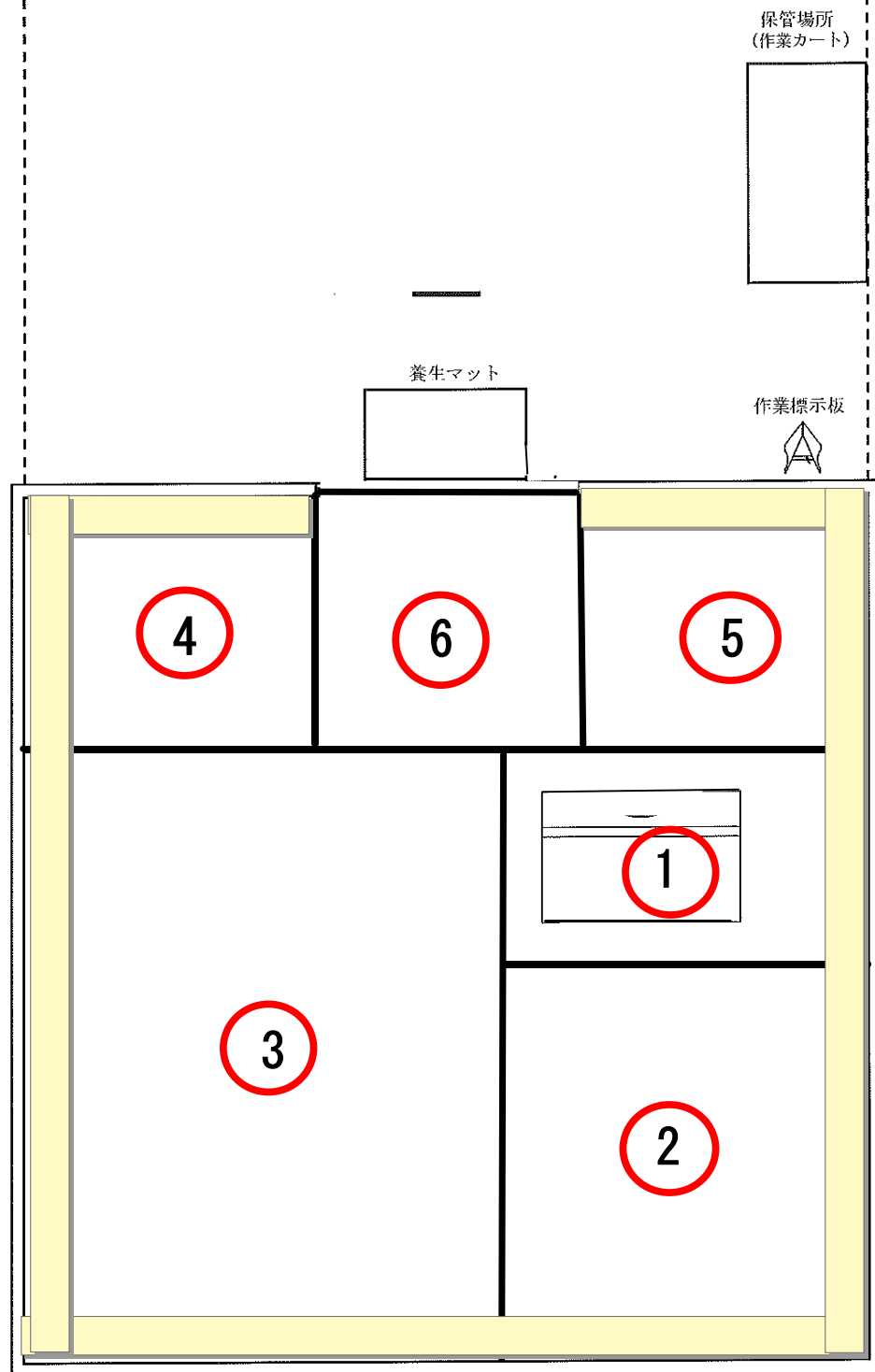
	⑦ 柄とヘッドをカートに戻す。 ⑧ 小ぼうきと文化ちり取りを持って集めたゴミをとる。 ⑨ ゴミの取り残しがないか点検する。 ⑩ 小ぼうき、文化ちり取りをカートに収める。		
水拭き（モップ）	① コート全体面積を拭く。 ② 幅木側、机の下、中央部の順に拭く。 ③ コーナー周りとし、机の足元は房糸に手を添えて拭く。 ④ モップは時々裏返し、モップ全体を使って拭く。 ⑤ モップは横拭きとし、後退しながら拭く。	・ 拭き残し、拭きむらのないようにする。 ・ 横拭きは柄の先端に親指を添えるのを基本とする。 ・ 幅木、机の脚部に触れないようにする。 ・ 拭いたところを踏まないようにする。	
ゴミ箱とイスを下ろす	安全に音を立てないように下す。	足の上に落とさないように注意する。	
机上拭き	① 青色のタオルを八折にして持つ。 ② 机の縁を含めて、四隅から中央へ行う。 ③ タオルが汚れたらきれいな面を出して拭く。 ④ 横拭き・縦拭きを行う。 ⑤ 机の上を水拭きした後に白色のタオルでから拭きを行う。 ⑥ から拭きも水拭き同様に、同じ作業を行う。	拭き残し、拭きむらのないようにする。	
点検	指差し又は目視点検を行う。	資機材の忘れ、ゴミの取り残しなどの点検を行う。	点検の際に声をださないこと。
退室の挨拶	出口にて室内に向かって退室の挨拶を行う。	「失礼しました」等、一礼し、挨拶を行う。	声を出して申告する。
資機材の片付け	作業標示板を作業カートに収納し、作業カートを保管場所に戻す。		
終了挨拶	所定の位置に立ち終了挨拶を行う。	「終わりました」「終了しました」等の意思表示を行う。	作業終了を申告する。

標準配置図(モデル)

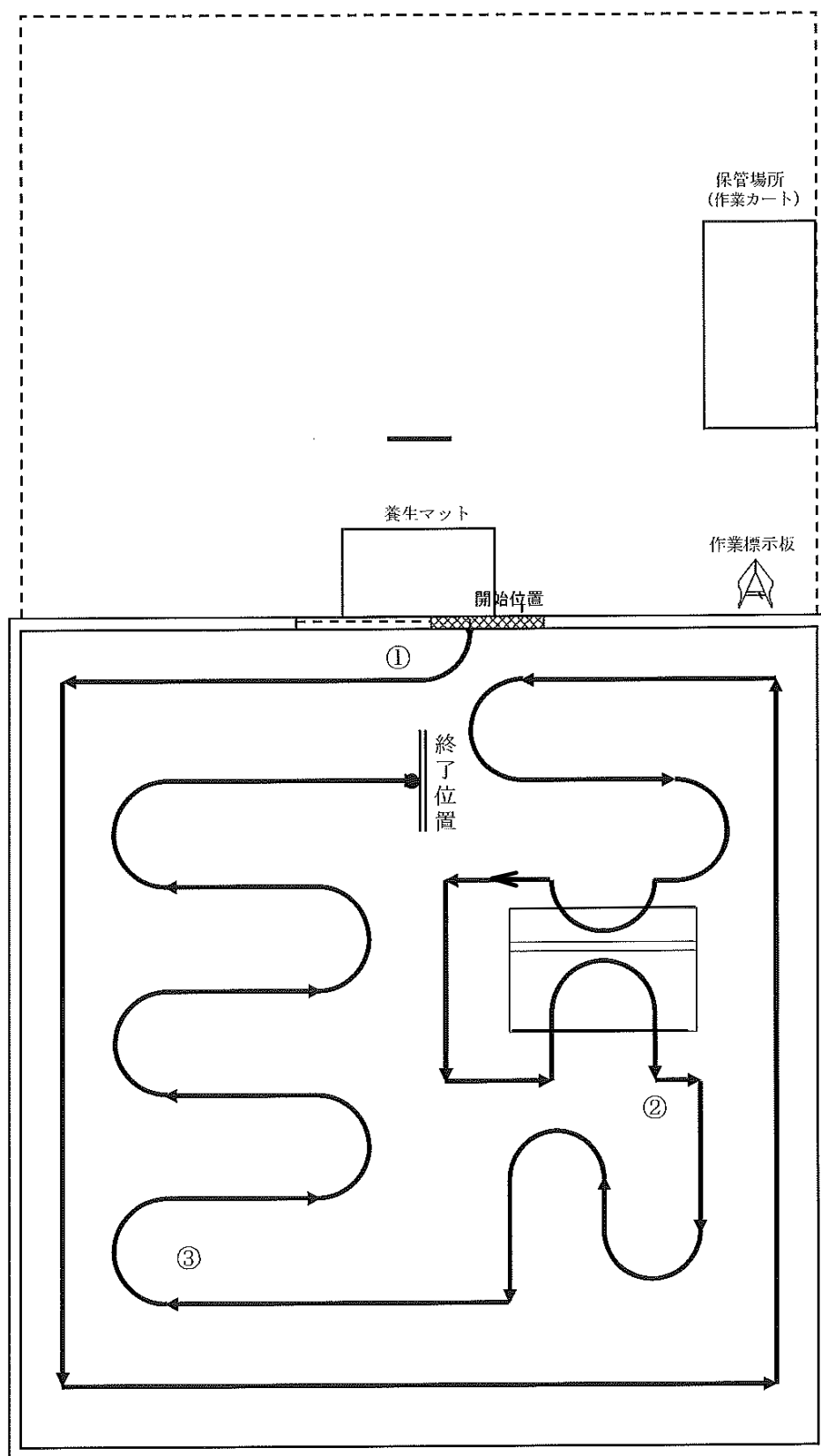


動線を考えた区画ごとの清掃

モップ拭き

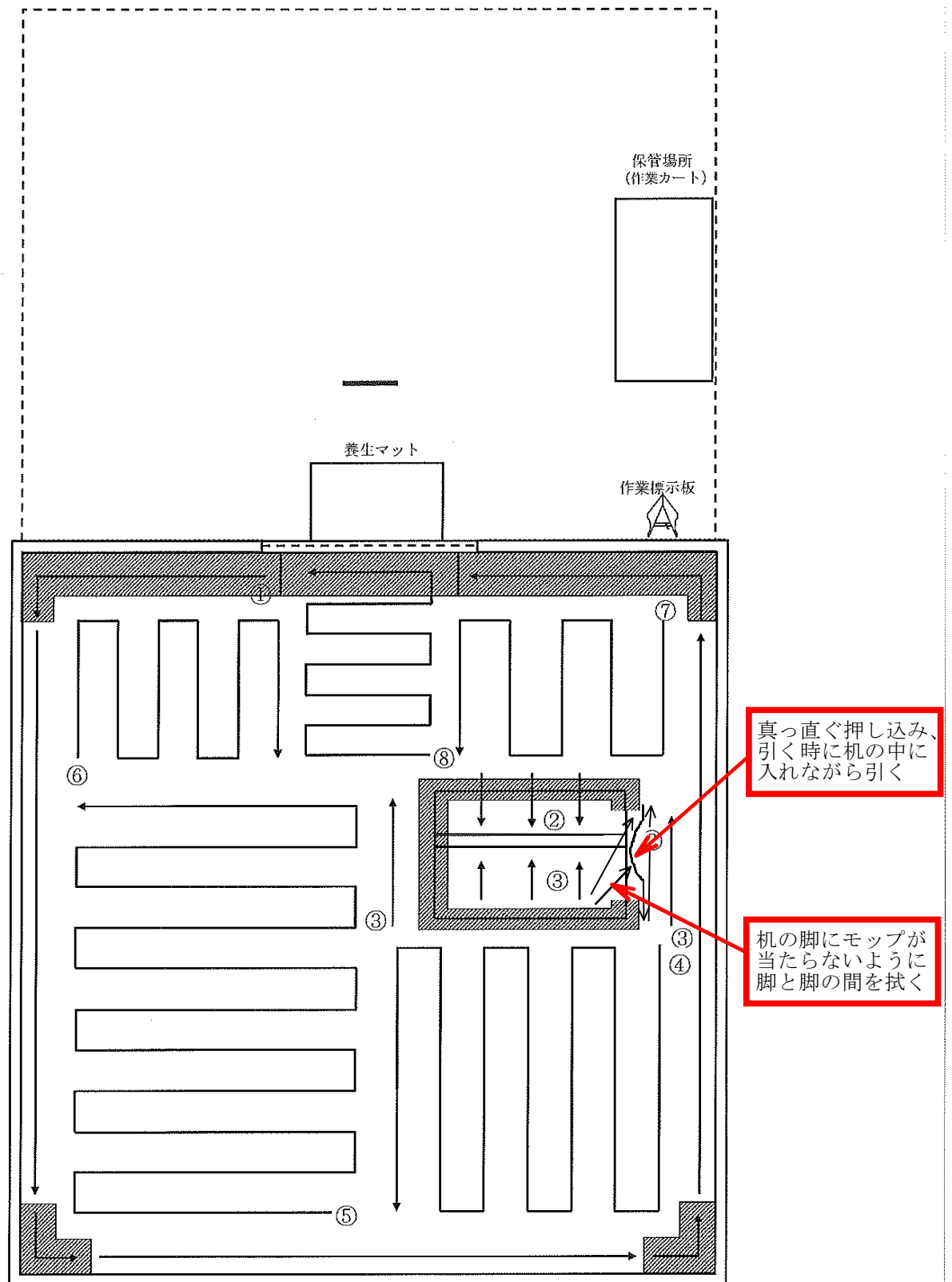


乾式モップ作業手順



注：乾式モップのヘッドの振る回数ではありません

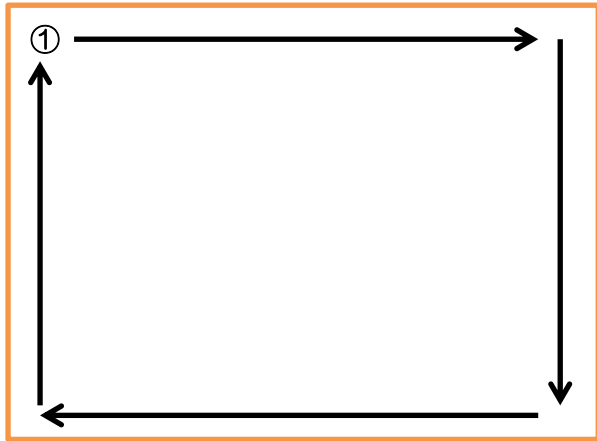
水拭きモップ作業手順



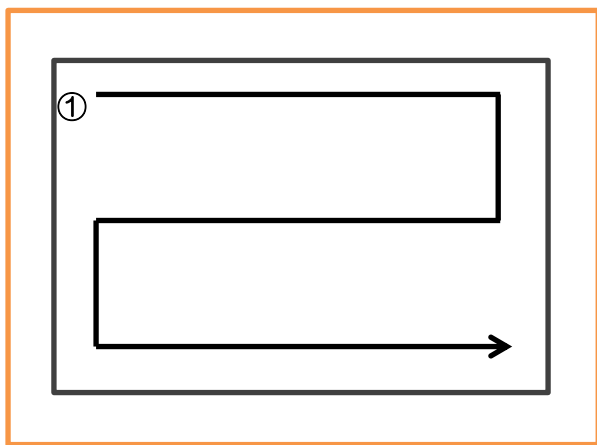
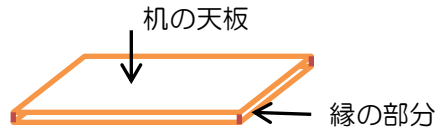
注：■印は手を添える箇所を示す。

水拭き回数を入れたものではありません。

机上拭き作業手順

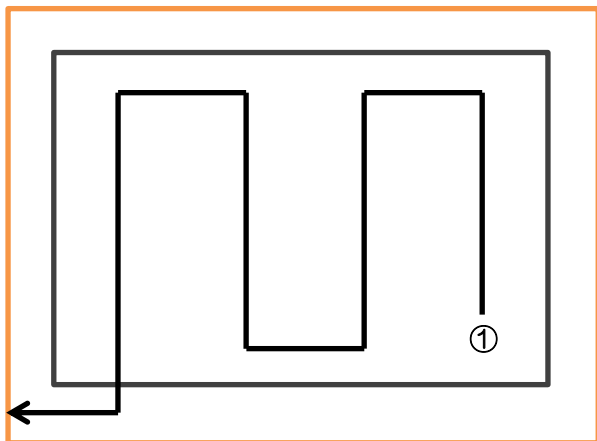


①四角く、縁にそって拭き上げます。
(その際、指を曲げて机の洩も拭きます)



②横拭き：拭いていない中面（黒線で囲ったところ）を拭きます。3回で拭き上げます。

拭きムラがないように注意して、2cmほど拭いた場所と重なりを付けます。



③縦拭き：タオルを折り返し（拭いた面を変える）。